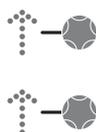




ミラ2チェア 調節方法

①



シートの高さ調節(ガス圧式)

シート右下の平らなレバー

高くする：座面に座り、少しずつ腰を浮かしながらレバーを上にあげると、座面が高くなります。希望の高さになったらレバーを離します。

低くする：座面に座った状態でレバーを上にあげると座面が低くなります。希望の高さになったらレバーを離します。

☆大腿部が床面と並行になる座面の高さが自然な着座姿勢となります。

②



座面奥行き調節

座面前下のレバー

縮める：レバーを握り、座面前の縁を下に折ります。

伸ばす：レバーを握り、座面前の縁を上上げます。

☆膝の裏側が座面の前縁に圧迫されないように奥行きを調節します。

③



リクライニングの硬さ調節

シート右下の丸いダイヤル

硬くする：背もたれに寄りかからないで、ダイヤルをプラス+の方向(座った状態で前方向)に回します。

柔らかくする：背もたれに寄りかからないで、ダイヤルをマイナス-の方向(座った状態で後ろ方向)に回します。

☆背もたれに軽く寄りかかると、背中を支えながら傾き、戻るときには背もたれが自然についてくる程度が適度な固さです。



④



前傾チルト

座面左下の水平のレバー



座面を前傾させる：背もたれに寄りかかって体重をかけ、軽くリクライニングさせます。そのままレバーを下げ、背もたれによりかかるのをやめます。やめると前傾します。



座面を通常位置に戻す：背もたれに寄りかかって体重をかけ、軽くリクライニングさせます。そのままレバーを上げ、背もたれによりかかるのをやめます。やめると前傾機能が解除されます。

☆操作の方法を誤ると故障の原因となります。

☆集中して作業をするときに適します。座面を通常より少し高くして使います。

⑤



リクライニングの範囲設定



座面左下の垂直のレバー

範囲を設定する：背もたれに寄りかからないで、レバーを前方向に押します。範囲設定したい位置を3段階の中から選びます。(3箇所までレバーを止めることが出来ます。)

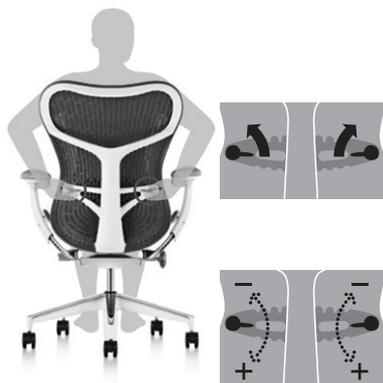


設定を解除する：背もたれに寄りかからないで、レバーを後ろ(レバーが止まる3箇所の内一番後ろ)に倒します。

☆操作の方法を誤ると故障の原因となります。

☆背もたれに寄りかかるのをやめると、背もたれの位置は元に戻ります。(固定ではありません。)

⑥



ランバーサポートの位置、強弱設定

ランバーサポート左右両端にあるレバー

左右のレバー先端を上に向け、ランバーサポートを緩めた状態で左右レバーを手で持って上下にスライドさせます。希望の高さの位置でレバーを水平にして、位置を設定します。

☆背もたれ自体の形状が、骨盤をサポートし、背骨が正しいS字のカーブを描くように設計されていますが、体型に合わせて、ランバーサポートの位置が設定できます。

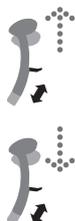
強くする：左右のレバー先端を下に下げます。

弱くする：左右のレバー先端を上を上げます。

☆腰椎のカーブに合わせてランバーサポートの強弱を設定します。



⑦



アーム高さ調節

アーム支柱外側のレバー

高くする：レバーを引き起こし、レバーを持ちながら上に上げます。希望の高さになったらレバーを下に倒して固定します。

低くする：レバーを引き起こし、レバーを持ちながら下に下げます。希望の高さになったらレバーを下に倒して固定します。

☆前腕をアームパッドに置いて、肩が上がらない高さに調節してください。

☆レバーは最後まで倒してしっかり固定して下さい。

⑧



アーム奥行調節

アームパッド

アームパッドをつかみ前後方向に動かします。

☆前腕部がサポートされるように天板に近づけることができます。

☆裏側の可動部に指をはさまないようにご注意ください。

⑨



アーム角度調節

アームパッド

アームパッドの先端部をつかみ水平方向に動かします。

☆コンピュータ使用時、マウス操作をするときは、アームパッドを外側に、キーボード操作をするときは内側にするなど、執務状況に応じて調節します。

☆3箇所まで固定できます。



⑩



アーム幅調節

アームパッド

アームパッドをつかみ水平方向に動かします。

☆体型や執務状況に応じて左右それぞれ調節します。

☆裏側の可動部に指をはさまないようにご注意ください。